

CASBEE®広島

(2010年ver.1)

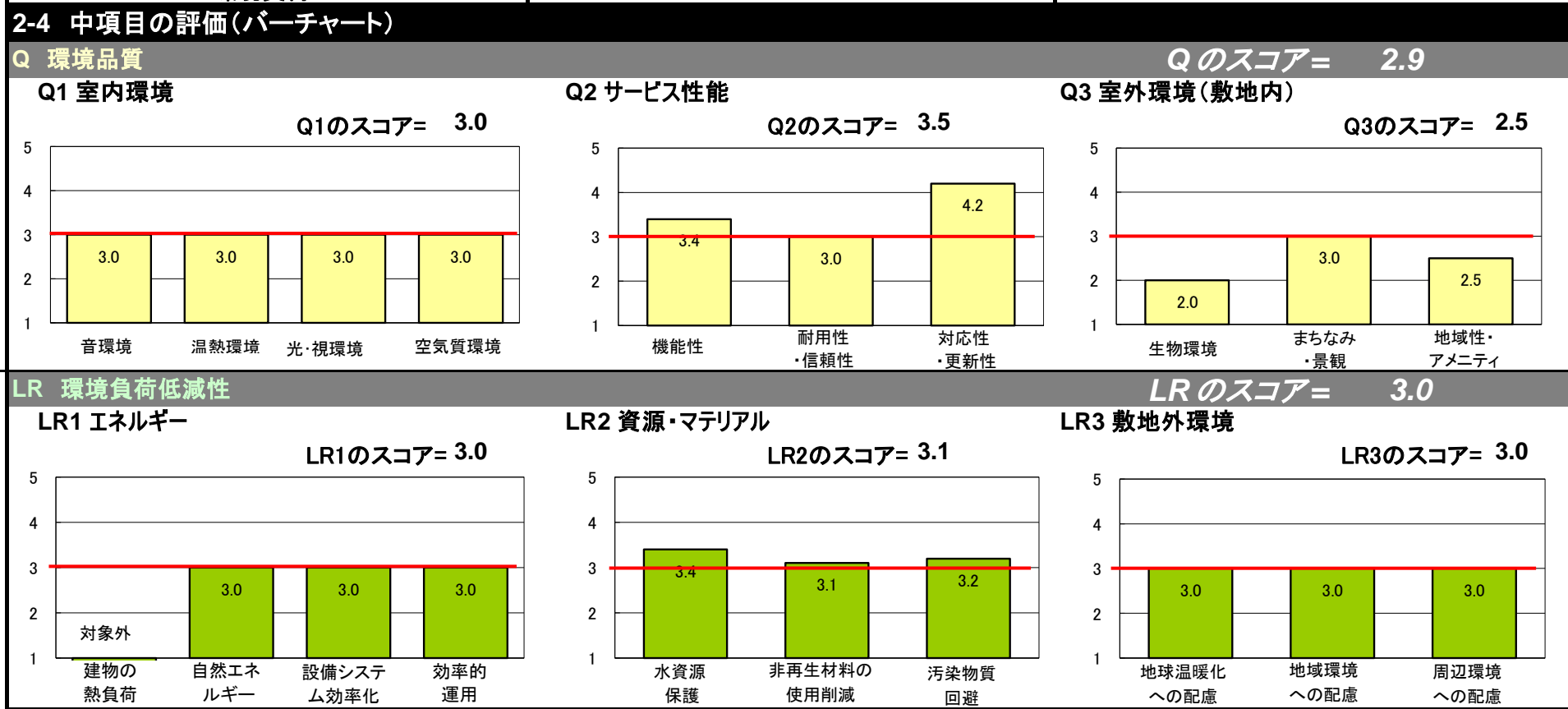
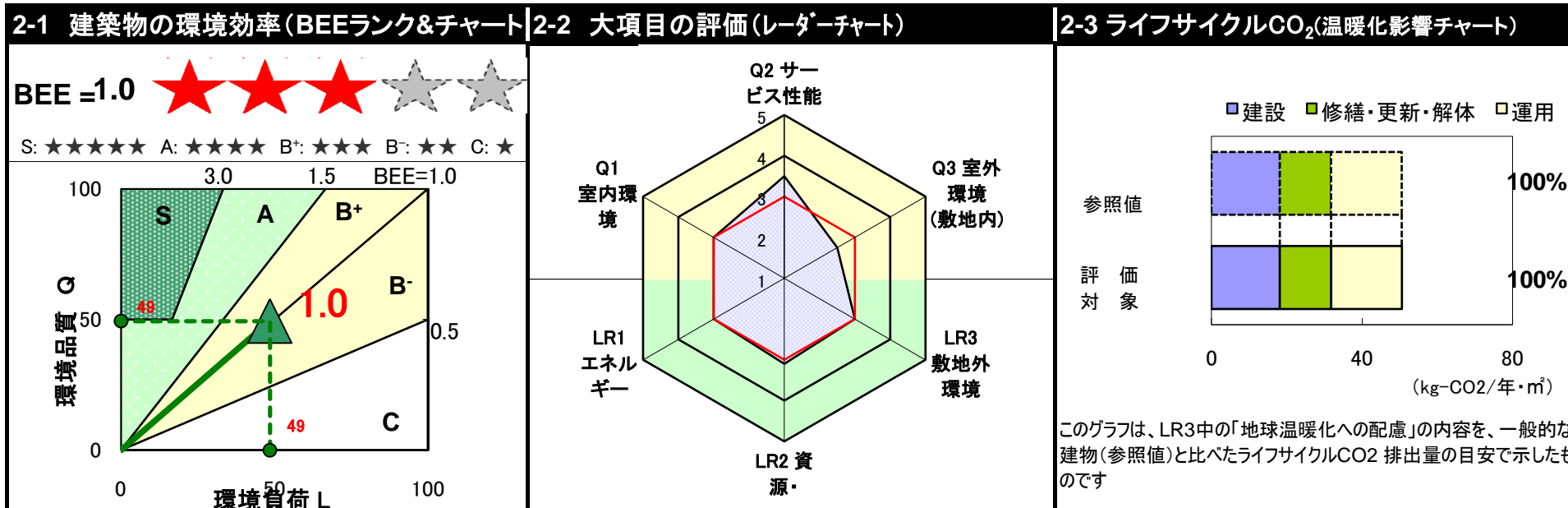
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Dプロジェクト広島西風新築	階数	地上2F
建設地	広島市安佐南区伴西二丁目2番3	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014年3月26日
敷地面積	21,574 m ²	作成者	坂本 卓也
建築面積	12,847 m ²	確認日	2014年3月26日
延床面積	21,147 m ²	確認者	坂本 卓也

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.1	スコア = 2.5	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 屋根を折板二重断熱工法とし断熱性能を高めました。/ 自然エネルギー利用はありません。/ 倉庫内照明にLEDを採用し、省エネルギー化を図りました。/ 計量メーターにより各エネルギー消費量を把握することが出来ます。/ 節水型便器の採用など、省資源化に配慮しました。/ ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物と同等です。	設計の計画上特段に配慮した事項 工業団地全体で緑地を確保しているが、計画敷地内にも極力緑地を設けました。/ 極力多くの駐車場を計画し、周辺道路への路上駐車を抑制しました。	設計の計画上特段に配慮した事項 耐用性について一般的なレベルとしました。/ 設備の更新性について一般的なレベルとしました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される